

2.7 公共交通のサービスに関する事業者ヒアリング

(1) ヒアリング調査の概要

バス事業者やタクシー事業者などの運輸事業者を対象に、事業者の目から見た運行上の課題を確認するためのヒアリング調査を行った。また、公共交通サービス事業者のほか、温泉旅館や病院等、個別施設（民間）が運行する交通サービスについても、共同運行の可能性を検討する上での対象となるため、運行主体へのヒアリングを実施した。

表 2-37 公共交通サービスに関する事業者ヒアリング調査対象

事業者	事業	調査日
1) 福島交通(株)	生活バス路線 23 路線 二本松地区スクールバス 1 台	H19 年 7 月 2 日(月)
2) JRバス東北(株)福島支店	自治体バス路線 1 路線	H19 年 7 月 3 日(火)
3) 協和交通(株)	廃止代替補助路線 1 路線	H19 年 7 月 2 日(月)
4) 昭和タクシー(株)	福祉バス(医療用送迎バスひょうたん号) 1 路線 福祉タクシー(循環福祉車両ようたすカー) 2 ルート 岩代地区スクールバス 6 台 学童保育所タクシー	H19 年 7 月 3 日(火)
5) 丸や交通(有)	東和地区スクールバス 1 台 学童保育所タクシー	H19 年 7 月 3 日(火)

表 2-38 個別施設（民間）が運行する交通サービスに関する事業者ヒアリング調査対象

事業者	事業	調査日
1) 岳温泉旅館協同組合	旅館送迎シャトルバス 1 路線	H19 年 7 月 2 日(月)
2) 医療法人辰星会 (枞病院・枞記念病院)	病院行き無料巡回バス 3 路線	H19 年 7 月 3 日(火)

表 2-39 ヒアリング調査の内容（以下を主な項目として、事業者ごとにヒアリングシートを作成）

設問	把握する事項	結果の解析
事業概要	車両保有状況、運行状況、輸送実績、収支状況（既存資料による現況整理の補足を行う）	サービス水準の把握
事業における問題点	需要の確保、事業の採算性、サービス内容（範囲、対象者、料金等）	課題の整理
要望事項等	撤退要望、事業継続の条件	事業継続の条件、事業の見直しや他地域展開の要件等

(2) ヒアリング調査の結果

次頁より、交通サービスの内容に応じて、調査結果の概要（利用の現状、運行の課題）を整理する。また、今回の二本松市の公共交通を検討する上で、必要となる視点や課題を整理する。

1) 路線バス、廃止代替路線バス、自治体バス

①バス路線（福島交通株式会社）

ヒアリング結果	<p>【利用の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用状況として、朝夕は通勤通学、日中は買い物や通院利用が多数である。 ・ 沿線の高校、中学へ通う学生・生徒の固定利用がある。路線によっては小学生や幼稚園の利用もある。 ・ その他、岳温泉や JICA 方面など、観光や研修などの利用もある。 <p>【運行の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路線によっては近隣市の学校廃校や近隣市の見直しの動き等がある。 ・ 岩代地区においては、ひょうたん号と重複路線があり、路線バスと市のバスの無駄を省く必要がある。
本検討における課題	<p>【⇒本検討における課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バスについては、現状の利用状況としての通学などの固定利用が多い。今後の路線の統廃合や見直しにおいては、沿線学校の通学利用を充分配慮する必要がある。なお、通学以外の買い物、通院の生活交通としての利用もあり、これらの移動に対する配慮も必要である。 ・ 市で運行する「ひょうたん号」などと重複して運行する路線があり、路線バスと市が運行するバスやタクシーとの役割分担を明確にし、両者が補完しあう運行体系を確立することが必要である。

②自治体バス路線（JRバス東北株式会社福島支店）

ヒアリング結果	<p>【利用の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者は主に、通勤、通院、買い物であるが、二本松市域内の利用は少ない。 <p>【運行の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運行開始当時の 25 年前と同様のサービス水準による運行であり、現在の利用実態やニーズに即しているか不明である。以前は高校生が利用していたが、現在は利用していない。 ・ 便によっては、接続する鉄道駅とのダイヤが連携できていない課題がある。
本検討における課題	<p>【⇒本検討における課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が少ない路線であり、開始当初からの運行体系がそのまま継続されている路線である。現在の利用実態やニーズに合わせた見直しが必要である。 ・ 関係市町による自治体バスであり、関係者間の協議が必要である。

③廃止代替バス路線（協和交通株式会社）

ヒアリング結果	<p>【利用の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用状況として、朝は通勤通学、通院、日中は通院の帰り、夕方は通勤通学の帰りの利用が多数である。 ・ 主に高校生、高齢者の利用が 8 割を占め、固定利用が殆どである。 ・ 岳温泉への観光客の利用は少ない。 <p>【運行の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年々利用者は減少している。少子化により高校生利用も限られている。 ・ マイクロバス 1 台での運行のため、増便は不可能。 ・ 利用客のニーズにあわせた運行経路、形態にしていく必要がある。 ・ 運行契約上、日・祝日を除いているため、休日の車両使用の都合上、観光のための車両改造や広告掲示は出来ない。
本検討における課題	<p>【⇒本検討における課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が自然減とのことであり、ニーズにあった運行時間の設定、岳温泉への観光客の利用促進などにより、持続可能な交通体系の維持のための工夫が必要である。

2) ようたすカー (昭和タクシー株式会社)

ヒアリング結果	<p>【利用の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通院の利用が最も多く、次いで買い物、公共施設利用が多い。 ・ Aコース（二本松地区・塩沢地区・岳下地区）に比べ、Bコース（二本松地区・杉田地区・石井地区・大平地区）の利用が多い。 <p>【運行の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 需要を増やすには、利用目的の制限緩和をすべきだと思う。ただし、現在の車両数では、これ以上の利用者増への対応は困難である。（ほぼ満席で運行している） ・ リピーターは極めて高い頻度で利用している。（単発利用者との差が大きい） ・ 旧二本松市地域以外にも運行を広げるべきではないか。旧岩代町や旧東和町は運行距離が長くなるため便数は少なくなる可能性がある。 ・ 申込みや利用方法が判らない人がいる。また、利用者に対する利用上の規則もしっかり周知して欲しい。 ・ 安全運行の確保の意味でも運行の単価を下げるという発想だけにはならないで欲しい。
本検討における課題	<p>【⇒本検討における課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用地域の拡大、利用者の拡大の検討においては、他の交通手段との役割分担や、導入目的、対象の明確化が必要となる。 ・ 現在、旧二本松市域のみの運行であり、他の地域の拡大については、現在福祉的な役割が強い本システムの拡大の必要性や有効性を検討する必要がある。

3) ひょうたん号 (昭和タクシー株式会社)

ヒアリング結果	<p>【利用の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 午前中の利用が多い。また友人とのグループ利用が多い。 ・ 小浜周辺の医院、百目木の国保診療所への利用が多い。 <p>【運行の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運行が一日一往復であり、往復利用が困難である。 ・ 安全運行の確保の意味でも運行の単価を下げるという発想だけにはならないで欲しい。
本検討における課題	<p>【⇒本検討における課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運行本数が一日一往復と極めて少なく、往復利用が出来ないため、移動目的や利用施設の状況に配慮した路線や運行形態の設定が必要である。

4) スクールバス

①二本松地域 (福島交通株式会社)

ヒアリング結果	<p>【利用の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>【運行の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般利用者と中学生等の混乗利用が可能になると良い。効率や環境の面から賛成である。
本検討における課題	<p>【⇒本検討における課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 混乗利用における道路運送法上の解決、また行き先や運行時間といった運行形態の検討が必要である。

②岩代地域（昭和タクシー株式会社）

ヒアリング結果	<p>【利用の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>【運行の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東和小学校の統合（平成 22 年 4 月開校予定）に向けて、スクールバスを見直す必要がある。 ・ 現在のスクールバス運行は、以前の学校の統廃合にともなう住民要望に基づき運行している実態がある。
本検討における課題	<p>【⇒本検討における課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スクールバスの一般利用化については、目的外利用となるため、道路運送法上の課題解決が必要である。利用者と事業者間の直接の金銭授受が無ければ問題ないと考えられる。 ・ スクールバスの一般利用化については、岩代地域は広域のため、走行範囲が広くなり、定員や走行時間などの課題解決が必要である。 ・ 通学時間帯の一般利用化は困難であるが、日中等の利用の可能性はある。 ・ 路線バスとの連携が必要である。

③東和地域（丸や交通有限会社）

ヒアリング結果	<p>【利用の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>【運行の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在のスクールバス運行は、以前の学校の統廃合にともなう住民要望に基づき運行している実態がある。
本検討における課題	<p>【⇒本検討における課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スクールバスの一般利用化については、目的外利用となるため、道路運送法上の課題解決が必要である。利用者と事業者間の直接の金銭授受が無ければ問題ないと考えられる。 ・ 朝夕は決まった時間発着の必要性があり、混合利用は難しいが、日中であれば可能と思われる。 ・ スクールバスの導入の経緯（これまでの統廃合や住民要望）を踏まえた上で、見直しを検討することが必要である。 ・ 東和地域は地形の起伏が激しいため、ルート設定の配慮が必要である。 ・ 路線バスとの連携が必要である。

5) 学童保育バス

①大平・杉田地区（昭和タクシー株式会社）

ヒアリング結果	<p>【利用の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2ルート運行している。 <p>【運行の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全運行の確保の意味でも運行の単価を下げるという発想だけにはならないで欲しい。
本検討における課題	<p>【⇒本検討における課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 混乗利用における道路運送法上の解決、また行き先や運行時間といった運行形態の検討が必要である。

②東和地域（丸や交通有限会社）

ヒアリング結果	【利用の現状】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転手一名で運行している。 【運行の課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日ルートが異なり、直前の変更も多数ある。
本検討における課題	【本検討における課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 混乗利用における道路運送法上の解決、また行き先や運行時間といった運行形態の検討が必要である。

6) 病院通院バス（柞病院・柞記念病院）

ヒアリング結果	【利用の現状】 <ul style="list-style-type: none"> ・ ①病院間シャトルバス、②岩代・東和地域バス、③南達地域バスの3路線を運行している。民間事業者に運行委託している。利用料金は無料である。 ・ 病院前の福島交道路線バスが廃止されたため、病院で独自に運行している。 ・ 病院利用者を対象としたバスであり、他の病院や目的は対象としていない。 ・ 利用者は増加傾向にあるが、乗り切れないということは無い。 ・ 利用者はリピーター（固定利用）が多数である。 【公共交通の課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い意見を取り入れ、利用しやすい整備を望む。
本検討における課題	【⇒本検討における課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院が独自資金を出して、通院者サービスとして運行しているバスである。一般利用化については、市の補助や、関係者の調整が必要となる。

7) 岳温泉・郡山駅間シャトルバス（岳温泉旅館協同組合）

ヒアリング結果	【利用の現状】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 郡山駅西口から岳温泉までの直通バスを、一日2往復運行している。旅館協同組合から郡山中央交通株式会社に運行委託している。 ・ 宿泊客に限らず観光客は誰でも利用可能である。（料金片道600円） ・ 土曜日や紅葉シーズンの利用が多い。 【公共交通の課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光協会・旅館協同組合としては路線バスの利用案内も行っている。 ・ 生活バス（本宮-岳線）は福島交通の路線でないため、路線図に掲載されていない。そのため、観光客には知られていない。（PR不足） ・ 路線バス、生活バスの鉄道とのダイヤ接続は必ずしも良くない。
本検討における課題	【⇒本検討における課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅館協同組合が独自資金を出して運行しているバスである。一般利用化については、市の補助や、関係者の調整が必要となる。 ・ 路線バスが観光客ニーズに対応できるサービス提供などをすることで、観光客の利用が促進される可能性がある。